



令和7年1月号  
 栄養教諭  
 柚木 聡美

お願いいたします  
 今年もよろしく

新年あけましておめでとうございます。今年度も、残すところあと3か月となりました。  
 引き続き、毎日の給食時間が待ち遠しくなるような、魅力ある給食づくりに努めてまいります。本年もよろしくおねがいたします。

今年はい(へび)年！

へびは、食べるときに獲物を丸のみしますが、皆さんは、よくかむことを意識して味わって食べましょう。



1月 使用予定のふるさと食材



1月は...

甲奴小6年生のリクエスト献立を実施します。

今月は、甲奴小学校6年生のリクエスト献立を実施します。甲奴小学校6年生に好きな献立を書いてもらったのですが、その中から、多かったものを組み合わせて献立を作りました。1月10日(金)、1月17日(金)、1月30日(木)の3日間、実施予定です。  
 2月は甲奴中学校3年生のリクエストメニューを実施予定です。楽しみにしててください。

6年生の給食の思い出を紹介します。

- 正平校長先生のおすすめのきな粉揚げパンがとてもおいしかったので、出ると楽しみにしていました。
- 給食全部おいしかったです。
- ほかの学年の子と食べたたわり班給食が思い出に残っています。
- いろんな新メニューがあっておいしかった。

阪神・淡路大震災から30年

災害時の『食』を備えましょう



1995(平成7)年1月17日に、阪神・淡路大震災が発生しました。寒さ厳しい中、被災した多くの人たちを支えたのは、ボランティアによって届けられた炊き出しの「おむすび」です。震災発生から5年が過ぎた2000年、兵庫県が事務局を務める「ごはんを食べよう国民運動推進協議会」は、食料の重要性や、ボランティアの善意を忘れないために、この日を「おむすびの日」と決めました\*。  
 阪神・淡路大震災の発生から今年で30年となります。昨年元日に発生した令和6年能登半島地震が記憶に新しいですが、この30年の間にも各地で大きな災害が頻発しています。災害発生直後は支援が届かないということを前提に、一人ひとりが自分の命は自分で守ることを意識し、普段から備えをしっかりとしておくことが大切です。

\*2018(平成30)年8月31日に同協議会は解散し、この取り組みは、公益社団法人米穀安定供給確保支援機構へ引き継がれています。

災害時の食の備え

★非常食・日常食品・持ち歩き用品の3つを備えておきましょう。水と熱源は必需品です。

<p>そのまま食べられる 非常食</p> <p>アルファ化米、缶詰、レトルト食品、菓子類など</p>	<p>ローリングストックで備える 日常食品</p> <p>お米、乾麺、乾物、日持ちのする野菜・果物、調味料など</p>	<p>外出時の持ち歩き用品</p> <p>飲料水、チョコレート・あめなどの菓子</p>
--	---	---

水は調理用も含めて1人1日3リットル必要とされています。できれば1週間分備えておくとう安心です。

1人1日3リットル

カセットコンロとボンベがあれば、温かい料理を食べることができます。あらかじめ使い方を確認しておきましょう。

1月24日~30日は、全国学校給食週間です！

学校給食の移り変わりを見てみよう！

<p>明治22年</p> <p>私立忠愛小学校で提供されたといわれる給食。</p>	<p>戦後(昭和20~30年代)</p> <p>支援物資の脱脂粉乳や缶詰、小麦粉などを使った給食。</p>	<p>現在</p> <p>地域でとれる旬の食材を取り入れ、郷土料理や行事食、世界の料理など、食育の教材となる給食。</p>
---	---	---